

大麦栽培ごよみ

黒部市農業協同組合
新川農林振興センター

令和7年産 品種：ファイバースノウ

『品質目標』 品質ランク格付け Aランク
●容積重 690g/l以上 ●細麦率 2.2mm下に2.0%以下
●白度 43以上 ●硝子率 40%以下

350kg/ha栽培の要点

＜収量構成要素＞ m²当穂数 450本(苗立数150本×1株穂数3本)
1穂収量 1.05g(1穂粒数30粒×千粒重35g)

- ① 麦づくりは排水第一
集団化とともに、稲刈り直後に額縁排水溝を設置する。(随時手直し実施)
- ② 土づくりの実践：石灰質資材と堆肥等の有機物の施用
- ③ 種子更新を行うとともに適期播種を行う。耕起播種は一日のうちに。
- ④ 積雪前に排水溝の手直しを行う
- ⑤ 消雪後追肥で茎数・穂数確保
- ⑥ 的確な防除で品質向上＝赤かび病防除の徹底

m²当たり
茎数
(本)

800
600
400
200

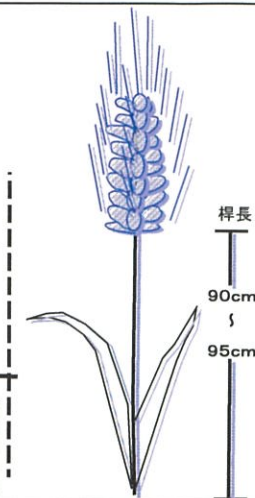
600~800本/m²

節間伸長期

結実日数
40~45日

m²穂数 450本

積算温度750℃



大麦の生育

月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

生育

発芽

分げっ期

幼穂分化期(幼穂1mm)

出穂期

成熟期

作業

① 排水対策
(稲刈後すぐ排水対策)

② 土壌改良資材等施用

③ 種子の準備
④ 播種作業
・ 耕起
・ 基肥施用
・ 播種溝種

1日で

⑤ 第1回追肥
(播種1か月後)

⑥ 排水溝の手直し



積雪期間



⑥ 排水溝の手直し
(融雪水の排水)

⑤ 第2回追肥
(消雪後直ちに)

※ 茎立期追肥
(茎数不足の場合)

⑤ 第3回追肥
(止葉展開期11出穂の12日前)

⑦ 赤かび病防除①(穂揃期)
⑦ 赤かび病防除②(1回目から7日後)

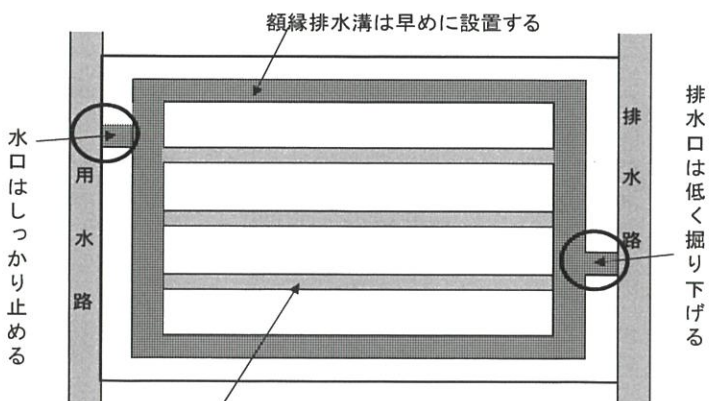
※ 加工用トウの抜き取り

⑧ 収穫
(刈取り)

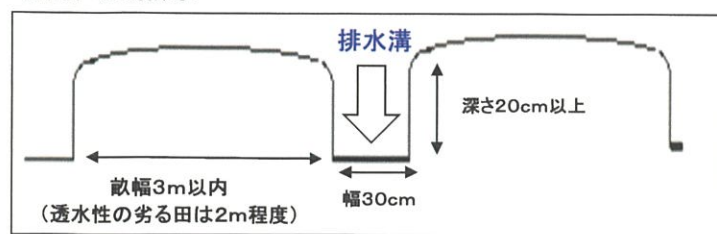
栽培管理のポイント

① 排水対策

- ・ 稲刈り後、早急に額縁排水と基幹排水溝を設置する
- ・ 発芽率、苗立数の確保のために排水対策はしっかりと
- ・ 透水性の悪い場合は、心土破碎を行う



・ 作溝、ほ場排水



- ・ ほ場が乾き、条件の良いときに作溝する
- ・ 溝幅は30cm、深さは20cm以上とする
- ・ うね立て後、両肩の山をならし、カマボコ型とする
- ・ 生育期間中は随時排水溝の手直しを図る

② 土壌改良資材施用

- ・ pH6.0を目標に、石灰質資材を耕起前に必ず施用する
- 土壌改良資材及び有機物(10a当たり)

区分	肥料名	施用量
土壌改良資材 (酸度矯正)	粒状貝化石	100~200kg
	チャンピオン	60kg
有機物	堆肥	2t
	発酵けいふん	100~200kg

③ 種子の準備

播種量(10a当たり)

播種時期	播種量		目標苗立数 (本/m ²)
	散播	ドリル播	
10月上旬	7~7.5kg	6.5~7.0kg	150
10月中旬	9kg	8.5kg	200

種子消毒の方法

風呂湯浸法	42℃の風呂湯に10時間浸漬し、自然に温度を下げる
循環式催芽器	45℃の湯湯に入れ、2.5時間浸漬する(時間厳守)
薬剤粉衣	ベンレートT水和剤20を乾燥種子重量の0.5%粉衣
	種子10kgに水200mlを加用し、50gの薬剤を均一に混和する

④ 播種作業(施肥・耕起・作溝・播種)

- ・ ほ場の乾いたときに、上記の1連作業を1日で完了する
- ・ 播種適期は上記記載とおりとして、10月上旬、遅くとも10月中旬までに播き終える 事前の排水対策が大事!!

基肥(10a当たり)

区分	肥料名	施用量
分施肥系	BB特15号	40kg
一発体系	エコ大麦44号	45kg

⑤ 追肥(分施肥系の場合) 追肥(10a当たり)

追肥	時期	肥料名	施用量
1回目	播種1か月後 (11月上旬)	硫安	20kg
2回目	消雪直後 (2月下旬)		20kg
* 茎数不足の場合のみ	茎立期 (3月下旬)		10kg以内
3回目	止葉展開期 (4月上旬、出穂12日前頃)		10kg以内

※ 葉色5以上、穂数500本/m²以上の場合は追肥しない

⑥ 排水溝の手直し

- ・ 排水対策は、大麦栽培の”かなめ”
- ・ 11月下旬の降雪前、2月下旬の融雪期の他生育期間中に随時、排水溝の手直しを行う

⑦ 赤かび病の防除

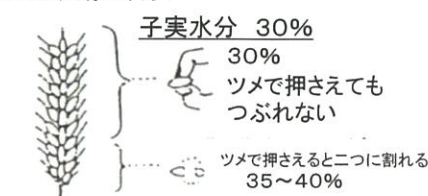
- ・ 赤かび粒の混入限度は0.0%(検査規格)
- ・ 出穂後2週間が感染しやすいの時期まで遅れないよう2回の防除を徹底する(液剤の方が防除効果大)

農薬名	10a当り 使用量	倍率	散布液量	使用時期	収穫前 日数	使用回数
トップジンMゾル	100ml	1500倍	150ℓ	1回目基本 防除 (穂揃期)	14日前迄	出穂期以降 1回以内
	100ml	※ドローン 散布のみ 8倍	0.8ℓ		21日前迄	
トップジンM粉剤DL	4kg				14日前迄	
ワークアップフロアブル	75ml	2000倍	150ℓ	2回目基本 防除 (1回目の7 日後)	7日前迄	3回以内
	50ml	※ドローン 散布のみ 16倍	0.8ℓ			
ワークアップ粉剤DL	3kg					

⑧ 収穫

- ・ 出穂後40~45日頃
- ・ 穂軸、茎葉が完全に黄化し、子実水分30%をめやすに収穫開始

○ 刈取期の目安



穂軸、茎葉が完全に黄化し、粒の大部分がツメで押さえてもつぶれない

○ 乾燥

- ・ 毎時乾減率1.0%以下を目安に水分13.0%に仕上げる

○ 選別

- ・ グレーダの網目は2.3ミリを用い粒揃いの良いものに仕上げる